

令和4年12月期 決算短信（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

令和5年5月8日

銘柄名	コード番号	連動対象指標	上場取引所 東京証券取引所	
			主要投資資産	売買単位
WisdomTree 金上場投資信託	1672	金価格	金	1
WisdomTree 銀上場投資信託	1673	銀価格	銀	10
WisdomTree 白金上場投資信託	1674	白金価格	白金	1
WisdomTree パラジウム上場投資信託	1675	パラジウム価格	パラジウム	1
WisdomTree 貴金属バスケット上場投資信託	1676	貴金属バスケット価格 ^(注)	金・銀・白金・パラジウム	1

(注) 貴金属バスケット価格は、金価格、銀価格、白金価格、パラジウム価格に基づいて算出されます。
 なお、ETFS貴金属バスケット上場投信の一口当たりの貴金属は、およそ0.04ファイン・トロイ・オンスの金、およそ1.2トロイ・オンスの銀、およそ0.01トロイ・オンスの白金、およそ0.02トロイ・オンスのパラジウムの合計です。

外国投資法人 ウィズダムツリー・メタル・セキュリティーズ・リミテッド
 代表者名 クリストファー・フォールズ
 管理会社 ウィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド
<https://www.wisdomtree.eu/en-gb/resource-library/prospectus-and-regulatory-reports#tab-2A942D42-5AA1-4008-9080-3C2DADB050A7>
 代表者名 スティーブン・ロス
 問合せ先責任者 TMI 総合法律事務所（中川秀宣） TEL 03-6438-5660
 有価証券報告書提出予定日 令和4年6月30日提出
 分配金支払い開始予定日 該当なし

I ファンドの運用状況

1. 2022年12月決算期の運用状況（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

(1)資産内訳

(百万円未満切捨て)

		主要投資資産		合計（資産）	
		金額	構成比	金額	構成比
		百万円	%	百万円	%
WisdomTree 金上場投資信託	2022年12月決算期	647,483	(100)	647,483	(100)
	2021年12月決算期	761,321	(100)	761,321	(100)
WisdomTree 銀上場投資信託	2022年12月決算期	192,550	(100)	192,550	(100)
	2021年12月決算期	295,693	(100)	295,693	(100)
WisdomTree 白金上場投資信託	2022年12月決算期	63,086	(100)	63,086	(100)
	2021年12月決算期	87,406	(100)	87,406	(100)
WisdomTree パラジウム上場投資信託	2022年12月決算期	18,610	(100)	18,610	(100)
	2021年12月決算期	23,357	(100)	23,357	(100)

		百万円	%	百万円	%
WisdomTree 貴金属バスケット 上場投資信託	2022年12月決算期	22,173	(100)	22,173	(100)
	2021年12月決算期	22,832	(100)	22,832	(100)

(注) 主要投資資産は、令和5年4月29日午前零時（ロンドン時間2023年4月28日午後4時）現在のものとしてブルームバーグによって表示される為替レート（スポット・レート）（1米ドル=136.185円、1ポンド=170.934円）に基づいて円換算しています。（以下同じ）

(2) 設定・償還実績

		前営業期間末 発行済口数 (①)	設定口数 (②)	償還口数 (③)	当営業期間末 発行済口数 (①+②-③)
WisdomTree 金上場投資信託	2022年12月決算期	千口 32,541	千口 5,260	千口 10,021	千口 27,781
	2021年12月決算期	41,104	3,876	12,438	32,541
WisdomTree 銀上場投資信託	2022年12月決算期	千口 101,094	千口 21,303	千口 58,588	千口 63,810
	2021年12月決算期	98,664	30,422	27,992	101,094
WisdomTree 白金上場投資信託	2022年12月決算期	千口 5,542	千口 1,754	千口 2,584	千口 4,712
	2021年12月決算期	6,360	2,369	3,187	5,542
WisdomTree パラジウム上場投資信託	2022年12月決算期	千口 969	千口 717	千口 865	千口 821
	2021年12月決算期	890	521	442	969
WisdomTree 貴金属バスケット上場投資信託	2022年12月決算期	千口 1,209	千口 126	千口 157	千口 1,178
	2021年12月決算期	1,160	287	239	1,209

(注) 上記の設定・償還実績については、営業期末時点の未決済上場投信を含んでいません。

(3) 基準価額

		総資産	負債 ^(注)	資産	売買単位当たり基準価額 ((③/当営業期間末 発行済口数) × 売買単位)
WisdomTree 金上場投資信託	2022年12月決算期	百万円 647,483	百万円 -	百万円 647,483	円 23,306
	2021年12月決算期	761,321	-	761,321	23,395
WisdomTree 銀上場投資信託	2022年12月決算期	百万円 192,550	百万円 -	百万円 192,550	円 30,175
	2021年12月決算期	295,693	-	295,693	29,249
WisdomTree 白金上場投資信託	2022年12月決算期	百万円 63,086	百万円 -	百万円 63,086	円 13,386
	2021年12月決算期	87,406	-	87,406	15,769
WisdomTree パラジウム上場投資信託	2022年12月決算期	百万円 18,610	百万円 -	百万円 18,610	円 226,516
	2021年12月決算期	23,357	-	23,357	240,802
ETFS 貴金属バスケット上場投資信託	2022年12月決算期	百万円 22,173	百万円 -	百万円 22,173	円 18,814
	2021年12月決算期	22,832	-	22,832	18,883

(注1) 売買単位は、金、白金、パラジウム及び貴金属バスケットについては1口、銀については10口となります。

(注2) 貴金属証券の一単位当たりの資産は、証券1単位当たりの基準価額に基づいたものとなっています。証券1単位当たりの基準価額は、相応する証券1単位当たりの貴金属エンタイトルメントに対応する値決めによる価格を乗じたものとなります。各々の種類の貴金属にかかる証券の裏付けとなっている貴金属ごとの総価値は、相応する証券の残高と等しくなります。このために、純資産額は零となり、総資産額は、証券の裏付けとなる貴金属の総額と等しくなります。

[参考] 外国投資法人の財政状態

	総資産額	総負債額	投資主持分額
	百万円	百万円	百万円
2022年12月決算期	1,350,401	1,354,661	-4,259
2021年12月決算期	1,685,477	1,684,116	1,361

(注1) 貴金属証券は、期限の定めのない、請求権の限定されている発行体による債務です。全出資口は、親会社であるウィズダムツリー・セキュリティーズ・リミテッドにより保有されています。投資主持分額は、総資産額から総負債額を差し引いたものです。

2. 継続企業の前提に関する注記

発行体の事業の性質上、未決済の貴金属上場投資信託は、認定参加者により、いつでも、また特定の状況においては個々の保有者により、償還されることがあり、また特定の状況においては、発行体により強制的に償還されることがあります。貴金属上場投資信託の償還は、常に金属地金の同額(価額)の譲渡と一致するため、流動性リスクは、重大な残存リスクがないように軽減されます。発行体のその他すべての費用は、管理事務代行会社が負担します。取締役は、サービス契約に基づく義務の履行に関して、管理事務代行会社の財務状況とパフォーマンス、運用資産、および関連する収益源を綿密に監視しています。貸借対照表上の純報告ポジションは、赤字が報告された場合を含めて、IFRSに準拠した会計上の測定基準に基づく金属地金及び貴金属上場投資信託の未実現損益にのみ起因するものであるため、当社の継続企業の前提に影響を与えとは考えられません。

また、貴金属上場投資信託を支援するために金属地金が保有されているため、未実現ポジションに計上された欠損金または剰余金は、その後の貴金属上場投資信託の償還および関連する金属地金の解約に伴い、取り崩されることとなります。報告された欠損は、発行体の支払能力に関する問題を示すものではないと考えられ、また、取締役は、貴金属上場投資信託に関して発生する義務は、貴金属上場投資信託に適用されている目論見書の条件に従って管理することができると確信しています。取締役は、発行体が2024年4月30日まで事業活動を継続するための十分な資源を有していると合理的に期待して、発行体の事業活動を継続していると考えており、従って、これらの財務諸表は継続企業ベースで作成されています。

3. 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有・無

② ①以外の変更 有・無

(a) 発行体が検討する基準、修正および解釈指針:

以下の基準が、改訂、発行、施行されましたが、発行体には適用されないと判断しています。

- ＞ IFRS第3号企業結合の変更
- ＞ IFRS第4号保険契約の変更
- ＞ IFRS第16号リース契約の変更
- ＞ IAS第37号の規定、偶発債務および偶発資産の修正
- ＞ IFRSの年次改善

当連結会計年度において、これらの財務諸表に重要な影響を及ぼした新たな基準、修正および解釈はありませんでした。

(b) 公表済みであるが未発効の新規および改訂されたIFRS:

発行体は、公表済みであるが、まだ効力を有していない以下の新IFRSおよび改訂IFRSを適用していません。

- ＞ IFRS第17号「保険契約」(2023年1月1日以降に開始する年度から適用)
- ＞ IAS第8号「会計方針の変更」及び「会計上の見積りの変更」の修正(2023年1月1日以降に開始する会計年度から適用)
- ＞ IAS第12号「繰延税金」の修正(2023年1月1日以降に開始する年度から適用)
- ＞ IAS第1号「財務諸表の表示」(2024年1月1日以降に開始する会計年度から適用)の変更
- ＞ IFRS第16号リース契約の変更(2024年1月1日以降に開始する年度から適用)

取締役は、公表済みであるが未発効の上記の基準、修正及び解釈指針の適用による将来の期間における発行体の財務諸表に対する重要な影響はないと見込んでいます。